



▶ 的の前で待ち受けた選手がしっかり筒先を固定し、すばやく的に水を当てると、会場からは拍手がおこりました。



伊賀市消防団、優勝 !!

三重県消防操法大会 (7月16日)

鈴鹿市の三重県消防学校で、三重県消防操法大会が開催され、伊賀市からは市内の消防団10分団の代表選手が出場しました。

消防操法とは、消防訓練の基本的な器具操作や動作を行うもので、この大会では、開始の合図でホースをつなぎ、火に見立て

た的に放水し、消火の作業を終えるまでの敏速さや安全性、規律、放水までの所要時間などが守られているかを審査します。

日頃の訓練の成果を発揮した伊賀市消防団は、栄冠の1位に輝き、10月14日に長野県で開催される全国消防操法大会への出場が決定しました。



▼今回出場した伊賀市消防団は、昨年の11月から大会に向けて厳しい訓練を重ね、見事優勝を勝ち取りました。



夏の幕開け

第32回青山夏まつり (7月17日)

青山公民館周辺で第32回青山夏まつりが開かれました。会場には、焼きそばや焼き鳥、金魚すくいの屋台などが立ち並び、にぎわいを見せていました。

また、メイン会場では、さくら保育園の年長組や地元のグループなどが元気いっぱいの踊りで会場を盛り上げました。

そして、夜には約1,000発の花火が夜空を彩り、訪れた人々を魅了しました。

▶ 大きな花火が打ち上がり、夏の風物詩を楽しむ1日となりました。

▼ 力強い踊りが披露されました。





お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など

伊賀の農産物を楽しむ

農業ふれあいまつり (7月18日)

伊賀市農業公園で、第19回農業ふれあいまつりを行いました。

このまつりは、都市住民と農村住民の交流を通して、地産地消の拡大をめざすとともに、農村地域の活性化を促すことを目的として開催しています。

会場ではバンド演奏やダンスなどが行われました。また、伊賀の「食」と「農業」にこだわった多くの出店が立ち並び、とれたての地場産野菜や伊賀の食材を使った料理を求めて多くの人々が列をつくっていました。



▲地元の農産物を求め、会場には約1,000人が訪れました。

◀広場ではフラダンスが披露され、会場に訪れた人は南国気分になりました。



本紙 12 ページの「伊賀市多文化共生センターの開設」について、わかりやすく解説します。



こども広場

「多文化共生社会」

外国で暮らすのは大変なこと
現在、伊賀市にはたくさん
の外国人が住んでいます。し
かし、外国で生まれ育った人
が、日本のルールや言葉を覚
えて日本人と同じように生活
することはとても大変なこと
です。

例えばお腹が痛くなったとき、どこ
に病院があつてどの診療科に相談すれ
ば良いのか、救急の場合はどうしたら
良いのかなど、分からないことがたく
さんあります。病院での医療費の支払
い方法や、救急車を呼ぶときは「119
番」に電話をするなどの生活上のルー
ルや制度などを知らない、病気になる
ても安心して病院に行くことができま
せんよね。
また、地震や洪水などの災害時の避難
場所や必要なものなどについても、誰
に聞いたら良いのか分からず、不安を
抱えている外国人も少なくありません。

日本での暮らしをサポートします

生活に必要な情報はもちろんのこと、

楽しいイベントなど

の情報のほとんどは日本語で発信され
ていて、外国人住民は知らないとい
うことが多く、同じ伊賀市民であるに
もかわらず情報の格差があります。
このような格差をなくすため、「伊賀
市多文化共生センター」が誕生しまし
た。ここでは、ポルトガル語・スペ
イン語・中国語・英語を話すスタッ
フが日替わりでいて、外国人住民が安心し
て暮らせるためにアドバイスをしたり、
多言語に翻訳したお知らせをホーム
ページで発信したりします。また観光で
伊賀市に来た外国人への案内もします。

お互いの文化を尊重し合えるまちへ

伊賀市では、さまざまな文化を持つ
外国人が多く住んでいることから、お
互いの文化を理解し尊重できる社会を
めざしています。これを多文化共生社
会といいます。

多文化共生センターでは、文化の交
流や、各種講座なども行う予定ですの
で、みなさんも利用してくださいね。

【問い合わせ】 市民生活課

☎ 22・9702 FAX 22・9641